平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名　沖電気工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6703　URL　http://www.oki.com/jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 川崎　秀一
問合せ先責任者 (役職名) IR室長　(氏名) 山内　篤　TEL 03-3501-3836

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	203,998	5.4	2,801	―	6,964	―	1,814	―
25年3月期第2四半期	193,629	4.0	△4,004	―	△6,099	―	△6,718	―

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　151百万円　(―%)　25年3月期第2四半期　△5,521百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.49	1.73
25年3月期第2四半期	△9.20	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	345,779	55,573	15.9
25年3月期	349,322	56,625	16.1

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　55,023百万円　25年3月期　56,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	5.3	24,000	78.1	24,000	18.2	15,000	10.3	19.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	731,438,670 株	25年3月期	731,438,670 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,530,102 株	25年3月期	3,465,556 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	727,939,960 株	25年3月期2Q	729,882,468 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年10月30日(水)に機関投資家向け決算説明会を開催いたします。説明会資料は、本第2四半期決算短信と同時にTDNetで開示しており、同日当社ホームページにも掲載する予定です。

（参考）

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式（基準日）	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	34,410.00	34,410.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	33,490.00	33,490.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

①当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）の概況

当第２四半期連結累計期間（平成26年３月期第２四半期累計）の世界経済は、米国で景気回復の傾向が見られるものの、欧州の債務問題の長期化や新興国における成長の鈍化により、全体としては不透明な状況が継続しています。一方、国内では個人消費や企業の設備投資の増加、円安による輸出の持ち直しなどにより緩やかに回復しています。

このような事業環境の下、ＯＫＩグループの業況は、情報通信システム事業をはじめとする主要各セグメントの業績が堅調に推移し、売上高は2,040億円（前年同期比104億円、5.4％増加）となりました。営業利益は、プリンタ事業の構造改革による固定費等の削減や円安の効果が寄与し28億円（同68億円良化）となりました。

経常利益は為替差益の発生等により70億円（同131億円良化）となりました。また、四半期純利益は、プリンタ事業の構造改革費用を計上したことなどから18億円（同85億円良化）となりました。

②事業別の状況

＜情報通信システム事業＞

外部顧客に対する売上高は、1,203億円（前年同期比41億円、3.6％増加）となりました。ソリューション＆サービスでは、金融・法人向けソリューションが堅調なものの、サービスの大型案件が減少したことなどにより減収となりました。通信システムは、企業ＮＷや保守・工事に加えてコアＮＷが堅調なことにより増収、社会システムも、一部官公庁向け大型案件の増加により増収となりました。メカトロシステムは、国内コンビニ向けＡＴＭや現金処理機が好調だったことに加え、中国向けＡＴＭも堅調に推移し、増収となりました。なお、円安による増収影響は39億円ありました。

営業利益は、価格下落や費用の増加などにより44億円（同２億円減少）となりました。

＜プリンタ事業＞

外部顧客に対する売上高は、573億円（前年同期比35億円、6.5％増加）となりました。商品別の状況では、オフィス向けカラーおよびモノクロＬＥＤプリンタは、販売戦略を見直し注力機種を絞り込んだことにより販売台数が減少しましたが、コピア領域へ向けた新商品は順調に推移しました。一方、ドットインパクトプリンタは、アジアでは堅調だったもののワールドワイドでは市場が縮小し、販売台数が減少しました。なお、円安による増収影響は92億円ありました。

営業損失は、事業構造改革などによる固定費の削減等により、物量減や価格下落の影響を吸収して大幅に改善し、６億円（同66億円良化）となりました。

＜ＥＭＳ事業、その他＞

外部顧客に対する売上高はＥＭＳ事業で180億円（前年同期比32億円、21.2％増加）、その他の事業で84億円（同４億円、4.8％減少）となりました。ＥＭＳ事業では、通信機器市場向けが好調で、半導体装置関連の需要も増加したことに加え、ＯＫＩ田中サーキット㈱の連結効果もあり増収となりました。その他の事業では、部品関連は堅調だったもののアミューズメント市場の需要減少などにより減収となりました。

営業利益は、ＥＭＳ事業で５億円（前年同等）、その他の事業では、13億円（前年同期比１億円減少）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①当第２四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産等の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して35億円減少の3,458億円となりました。自己資本は、当第２四半期連結累計期間において四半期純利益を18億円計上しましたが、その他の包括利益累計額が17億円減少したこと等により、前連結会計年度末に対して11億円減少の550億円となりました。その結果、自己資本比率は15.9％となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産で受取手形及び売掛金が316億円減少する一方、現金及び預金が103億円、たな卸資産が190億円それぞれ増加しております。

負債は25億円減少しております。借入金は、前連結会計年度末1,205億円に対して23億円増加し、1,228億円となりました。

②当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に運転資金が改善したことにより、146億円の収入（前年同期163億円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、39億円の支出（同93億円の支出）となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローとをあわせたフリー・キャッシュ・フローは107億円の収入（同256億円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加により、７億円の収入（同137億円の支出)となりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第２四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末の359億円から481億円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第２四半期連結累計期間の業況を踏まえ、平成25年５月９日の公表値を修正いたしました。

情報通信システム事業は、中国をはじめとする海外向けＡＴＭや防災行政無線および消防デジタル無線が堅調なことに加え、新商品投入効果により企業ＮＷが引き続き好調であること、さらに、金融・法人向けソリューションも順調なことから増収増益の見込みです。プリンタ事業は、コピア市場向け戦略商品の販売やプロフェッショナル市場向け新商品の投入などにより増収を見込んでいますが、営業利益については事業構造改革による固定費削減効果があるものの、販売戦略を見直したことによる影響もあることから、前回公表並みの見込みです。

これらの結果、通期連結業績は、売上高が4,800億円（前回公表比200億円増収）、営業利益が240億円（同20億円増益）、経常利益が240億円（同50億円増益）、当期純利益が150億円（同35億円増益）となる見込みです。

なお、通期連結業績予想に用いた下期の為替換算レートは95円／米ドル、125円／ユーロです。

詳細につきましては、本日開示いたしました「13年度第２四半期（累計）決算説明資料」をご参照ください。

（ご参考）平成26年３月期通期連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	460,000	22,000	19,000	11,500
今回発表予想（Ｂ）	480,000	24,000	24,000	15,000
増減額（Ｂ－Ａ）	20,000	2,000	5,000	3,500
増減率（％）	4.3	9.1	26.3	30.4
（ご参考）前期実績（平成25年３月期）	455,824	13,475	20,304	13,599

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因としては、市場の動向、原材料の高騰、急激な為替変動などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,904	40,162
受取手形及び売掛金	123,886	92,282
有価証券	6,502	7,999
製品	31,215	36,328
仕掛品	18,856	32,300
原材料及び貯蔵品	24,890	25,324
その他	19,338	16,507
貸倒引当金	△7,600	△8,134
流動資産合計	246,994	242,770
固定資産		
有形固定資産	57,829	56,598
無形固定資産	7,655	7,464
投資その他の資産	36,843	38,946
固定資産合計	102,328	103,008
資産合計	349,322	345,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,416	61,596
短期借入金	75,192	78,622
引当金	2,400	2,574
その他	56,121	51,789
流動負債合計	197,129	194,583
固定負債		
長期借入金	45,332	44,173
退職給付引当金	19,823	19,681
役員退職慰労引当金	386	325
その他	30,025	31,442
固定負債合計	95,567	95,623
負債合計	292,697	290,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	44,000	44,000
資本剰余金	21,554	21,554
利益剰余金	△7,788	△7,162
自己株式	△399	△412
株主資本合計	57,366	57,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,192	4,048
繰延ヘッジ損益	△656	△535
為替換算調整勘定	△2,829	△6,469
その他の包括利益累計額合計	△1,293	△2,956
新株予約権	79	79
少数株主持分	473	470
純資産合計	56,625	55,573
負債純資産合計	349,322	345,779

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	193,629	203,998
売上原価	145,059	152,800
売上総利益	48,570	51,198
販売費及び一般管理費	52,575	48,397
営業利益又は営業損失（△）	△4,004	2,801
営業外収益		
受取利息	94	42
受取配当金	304	528
為替差益	―	5,207
雑収入	661	476
営業外収益合計	1,060	6,256
営業外費用		
支払利息	1,676	1,264
為替差損	1,096	―
雑支出	380	828
営業外費用合計	3,154	2,092
経常利益又は経常損失（△）	△6,099	6,964
特別利益		
投資有価証券売却益	137	―
受取保険金	―	322
特別利益合計	137	322
特別損失		
固定資産処分損	207	441
投資有価証券評価損	288	―
事業構造改善費用	―	2,869
子会社整理損	―	239
特別損失合計	496	3,550
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△6,458	3,736
法人税、住民税及び事業税	880	1,460
法人税等調整額	△711	464
法人税等合計	169	1,924
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△6,627	1,811
少数株主利益又は少数株主損失（△）	90	△3
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△6,718	1,814

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△6,627	1,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△560	1,830
繰延ヘッジ損益	199	121
為替換算調整勘定	1,483	△3,636
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	24
その他の包括利益合計	1,105	△1,660
四半期包括利益	△5,521	151
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,603	151
少数株主に係る四半期包括利益	81	0

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△6,458	3,736
減価償却費	5,926	6,909
引当金の増減額（△は減少）	4,684	△802
受取利息及び受取配当金	△398	△571
支払利息	1,676	1,264
固定資産処分損益（△は益）	166	419
売上債権の増減額（△は増加）	20,022	36,995
たな卸資産の増減額（△は増加）	△20,776	△17,033
仕入債務の増減額（△は減少）	△6,270	△7,835
未払費用の増減額（△は減少）	△3,375	△2,875
その他	△10,940	△6,581
小計	△15,743	13,625
利息及び配当金の受取額	388	571
利息の支払額	△1,693	△1,282
保険金の受取額	2,636	1,576
法人税等の支払額	△1,849	142
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,260	14,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,505	－
有価証券の償還による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△5,270	△3,521
無形固定資産の取得による支出	△945	△1,067
その他の支出	△1,012	△543
その他の収入	945	715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,288	△3,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△382	873
長期借入れによる収入	200	11,300
長期借入金の返済による支出	△11,470	△10,533
セール・アンド・リースバックによる収入	856	1,201
リース債務の返済による支出	△1,232	△1,100
配当金の支払額	△1,321	△1,032
その他	△367	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,717	687
現金及び現金同等物に係る換算差額	367	557
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△38,898	11,961
現金及び現金同等物の期首残高	74,996	35,894
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,426	32
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	29	235
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,554	48,124

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	116,177	53,769	14,839	184,786	8,843	193,629	－	193,629
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,444	2,795	68	4,307	11,020	15,328	△15,328	－
計	117,621	56,564	14,908	189,093	19,864	208,957	△15,328	193,629
セグメント利益又は損失（△）	4,574	△7,207	486	△2,145	1,363	△782	△3,222	△4,004

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額△3,222百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,166百万円及び固定資産の調整額△52百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	情報通信システム	プリンタ	ＥＭＳ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	120,312	57,282	17,985	195,581	8,417	203,998	－	203,998
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,186	2,232	87	4,507	10,620	15,127	△15,127	－
計	122,499	59,515	18,073	200,088	19,038	219,126	△15,127	203,998
セグメント利益又は損失（△）	4,435	△611	508	4,333	1,294	5,627	△2,826	2,801

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、用役提供、その他機器商品の製造及び販売を行っております。

２．セグメント利益又は損失の調整額△2,826百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,861百万円及び固定資産の調整額△2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。